

EARTH MAN

アースマンシリーズ

エアブラシセット 吸い上げ式

HCPP-110

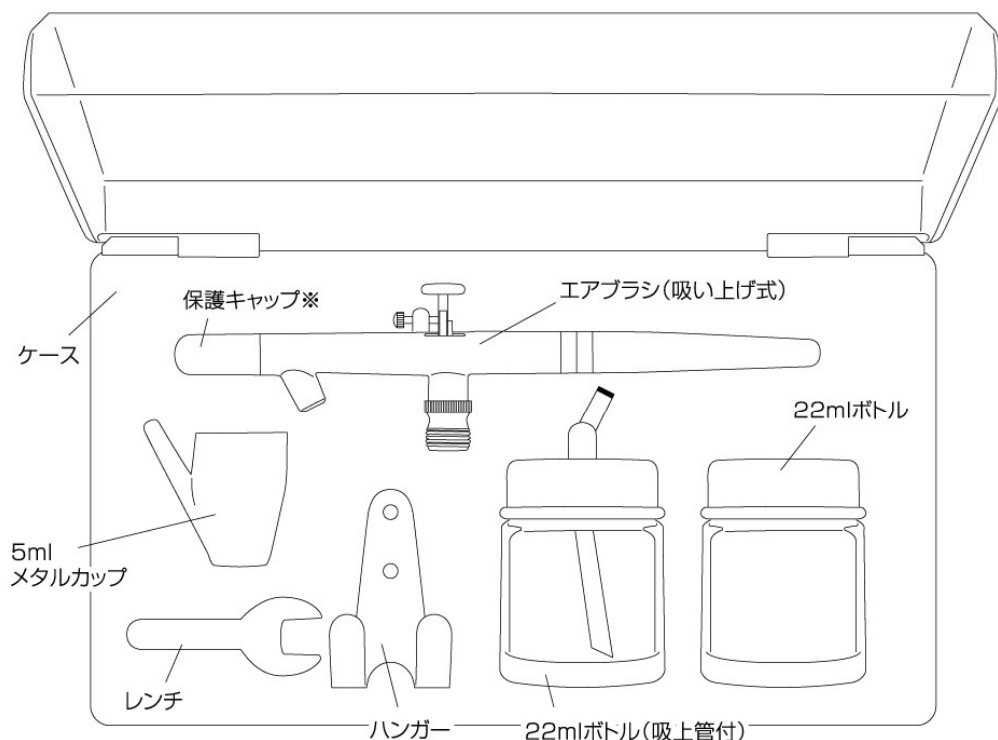


取扱説明書

取扱説明書の内容を十分理解
したうえで使用し、お手元に
大切に保管してください。

セット内容

※使用するときは保護キャップを外してください。



お客様へ

●本製品は一般家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

用途

◆圧縮空気を利用して、プラモデルの塗装・エアブラシアートなどに

仕様

使用最高圧力	0.4MPa	ボトル・カップ容量	ボトル約22ml／カップ約5ml
ホース接続ネジ	1/8接続ネジ	本体サイズ	約長さ147×幅11×高さ38(mm)
ノズル口径	0.35mm(サイズ変更不可)	質量(ボトル取付時)	約118g
レバー動作	ダブルアクション		

※商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのであらかじめご了承ください。

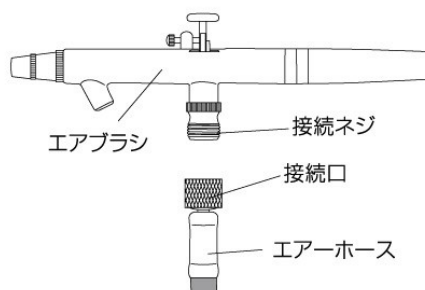
使用上の注意

- コンプレッサー以外の動力源は絶対に使用しないでください。
- 使用最高圧力を必ず守ってください。
- 作業するときは、マスク・保護メガネを着用し作業に適した服装で行ってください。
- 使用する前に、本製品にキズ・ひび割れなどの異常がないことを確認してください。異常がある場合は使用しないでください。
- 引火の恐れがありますので、火気・火花などを近づけないでください。また、室内で使用するときは十分な換気を行ってください。
- エアブラシを使用する場所は、塗料が飛散しても問題のない所で行ってください。
- 塗料が付着すると問題がある所は必ずマスキングをしてください。
- エアホースの取り外しをするときは、コンプレッサーが停止した状態でコンプレッサーやエアホース内の圧縮空気を抜いてから行ってください。
- 使用前に必ず試し吹きをしてから使用してください。
- 人や精密機械・もろい物への吹き付けは絶対にしないでください。
- 食品や化学薬品に使用しないでください。
- 引火性の物は、高温部への吹き付けは絶対にしないでください。
- 粘度が高い塗料や速乾性の塗料、固形物を含む塗料などは吹き付けができない可能性があり、ノズルが詰まる原因になりますので注意してください。
- 湿気が多いときはエアブラシの先端から水が出やすくなります。そのような場合は、エアフィルターの使用をお勧めします。
- 使用中に中断する場合や、色を変える場合は、塗料カップに残った塗料は別の容器に入れるか捨てるなどしてから洗浄液を入れて、塗料を空気に触れさせないようにしてください。塗料は空気に触れると固まっていきます。
- 使用しないときは、直射日光のあたらない・風通しの良い・乾燥した・小さなお子様の手の届かない所や、カギのかかる所にきちんと保管してください。

使い方

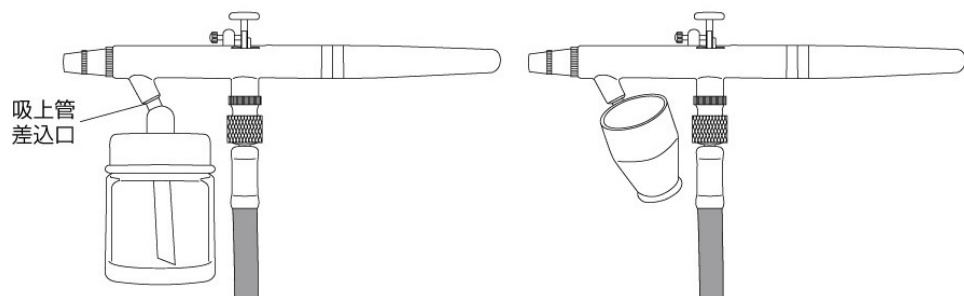
エアホースの取り付け

- エアブラシの接続ネジにエアホースの接続口を回してしっかりと取り付けてください。
- 取り外すときは、逆の要領で行ってください。



ボトル・メタルカップの取り付け

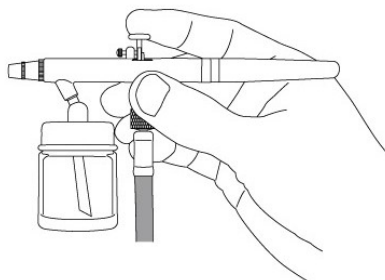
- ボトルまたはメタルカップを本体の吸上管差込口にしっかりと差し込んでください。
※差込が弱いと脱落する場合がありますので十分に注意してください。
※使用中に指が触れると脱落しやすくなりますので触れない位置に取り付けてください。



エアブラシの持ち方

- 右図は細かなコントロールが必要な作業に向けた持ち方です。えんぴつを持つように握るイメージです。

特に決まった持ち方があるわけではありませんので、作業しやすいように持ってください。



塗料

- ボトルのフタを開け、ボトル内に塗料を入れます。ボトル・メタルカップの2/3以上は入れないでください。
- 筆塗りと比べるとかなり薄くします。粘度が高い塗料だとエアブラシが詰まりやすくなり、噴霧も粗くなります。また、コンプレッサーも大きな力が必要になります。一般的には牛乳くらいの粘度がエアブラシに適しています。塗料によっては、牛乳くらいまで粘度を落としてしまうと定着が悪くなる塗料もありますので塗料メーカー様へお問い合わせください。

使用圧力



- エアブラシ本体では、圧縮空気の圧力調整はできません。コンプレッサー側で圧力調整できる機種の場合はコンプレッサーの圧力を調整してください。(圧力調整ができない機種の例:HCP-100)
- 塗料によって適正な圧力の設定は変わりますので、必ず試し吹きなどで確認してください。

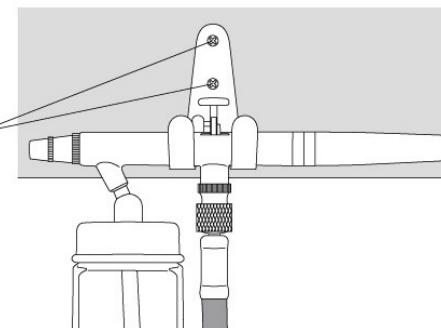
ハンガーの使用法



- 取り付けに必要な、ネジやドライバーは付属されておりません。お手持ちの物を用意してください。
- ハンガーの口が狭い場合は少し手で広げてください。無理な力で曲げないように注意してください。

ハンガーの穴2箇所を安定した壁などにネジ止めすることでエアブラシをハンガーにかけることができます。

ネジ2箇所



操作方法

●本製品はダブルアクションです。

●レバーを下に押すと圧縮空気だけ出ます。(図1)

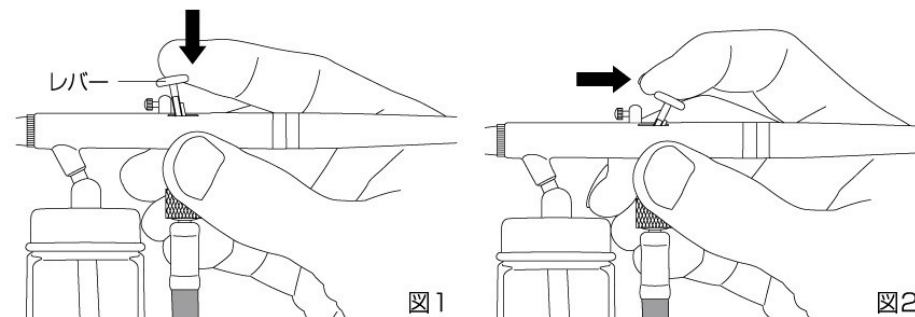
さらにレバーを押したまま手前に引くと塗料が出ます。(図2)

レバーの引き加減で塗料の量が決まります。レバーを手前に引くほど塗料の量は多くなります。レバーを戻すときは、レバーを手前に引いた状態で指を離すと塗料が垂れる場合がありますので、レバーを押した状態で塗料の噴霧を止めてから指を離してください。

●細い線や小さな面に吹き付ける場合は、エアブラシを吹き付け面に近づけて塗料の量を少なくしてください。太い線や大きな面に吹き付ける場合は、エアブラシを吹き付け面から離して塗料の量を多くしてください。

※過度に近づけた状態や離し過ぎた状態ではうまく吹き付けできません。

吹き付けは薄く塗り、乾かす作業を繰り返してください。厚塗りすると塗料が垂れたり、塗膜内部が乾かない状態になります。

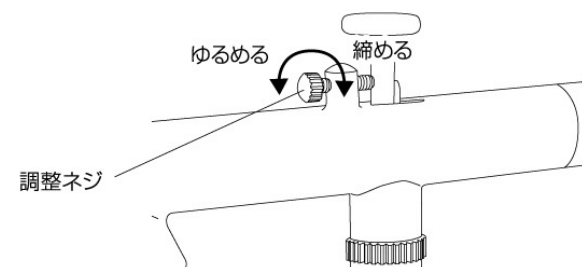


塗料の出方調整

塗料を一定の量で吹き付けたい場合や、同じ線幅を維持して吹き付けたい場合は調整ネジで調整します。

調整ネジを回してお好みで調整してください。

調整ネジを締めると噴霧量は多くなります。ゆるめると噴霧量が少なくなります。



吹き付け中の不具合

エアブラシを使用中、塗料の濃度または長時間の吹き付け作業の影響で噴霧に変化がでてくる場合があります。

きれいな霧状ではなく、水玉のように塗料が飛ぶ場合や塗料の出方が悪くなった場合などは、塗料がニードルの先端(ノズル側)やニードルキャップの周りに付着して正常な吹き付けの妨げになっています。その場合、いったん作業を中止して洗浄をしてください。(作業後の洗浄参照)

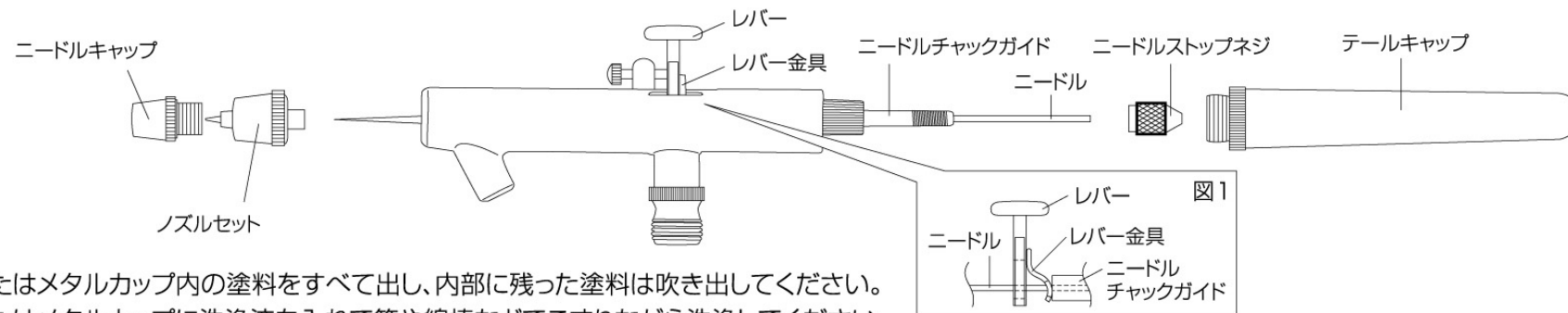
作業後の洗浄

⚠ 注意

●作業後できるだけ早く洗浄してください。塗料が固まった場合、溶剤でも溶けなくなることがあります。

●エアブラシは敏感な精密機械です。常に良い状態を保つためには日頃のお手入れが重要です。使用ごとに十分な洗浄を行ってください。特に塗料と接した部品(ノズル・ニードル・ボトル・メタルカップなど)は使用後できるだけ早く洗浄してください。時間が経つと塗料が詰まったり、固まったりして吹き付けに悪影響を及ぼします。塗料が固まった場合、溶剤でも溶けなくなることがありますので注意してください。

●使用中に中断する場合や、色を変える場合は、塗料カップに残った塗料は別の容器に入れるか捨てるなどしてから洗浄液を入れて塗料を空気に触れさせないようにしてください。塗料は空気に触れると固まっていきます。



- ①ボトルまたはメタルカップ内の塗料をすべて出し、内部に残った塗料は吹き出してください。
- ②ボトルまたはメタルカップに洗浄液を入れて筆や綿棒などでこすりながら洗浄してください。
- ③洗浄液を入れた状態で、先端(ニードルキャップ)にティッシュペーパーやキッチンペーパーなどを当て空気が逃げないようにふさいでから吹き出してください。洗浄液が逆流し塗料カップの中がブクブクと泡をたててノズル内の汚れを取ります。(これをうがい洗浄といいます。)
※塗料カップ内に多くの洗浄液を入れて行わないでください。周りに飛散します。
- ④洗浄液をすべて吹き捨て、ボトルまたはメタルカップを取り外してください。
- ⑤エアブラシをエアホースから外し、本体を分解して洗浄していきます。テールキャップを外してニードルストップネジをゆるめてニードルをゆっくり引き抜きます。
- ⑥ニードルキャップを外し、ノズルセットを付属のレンチを使って外して筆などで洗浄してください。
- ⑦ノズル周辺を洗浄します。ニードルの汚れを柔らかい布などで拭き取ってください。
- ⑧ノズルセットを付属のレンチを使ってしっかりと取り付けてください。
- ⑨ニードルを先端が傷つかないように注意しながら本体にセットしてください。ニードルがノズルから出ることを確認しながらゆっくり差し込んでください。ノズルに当たったところで止めて、ニードルストップネジをしっかりと締めてテールキャップを取り付けてください。
- ⑩レバーを動かしニードルが連動していることを確認してください。※連動しない場合は、レバーとレバー金具の穴にニードルが通っているか確認してください。(図1参照)
- ⑩確認できましたら、ニードルキャップをしっかりと締めて完了です。

部品の交換について

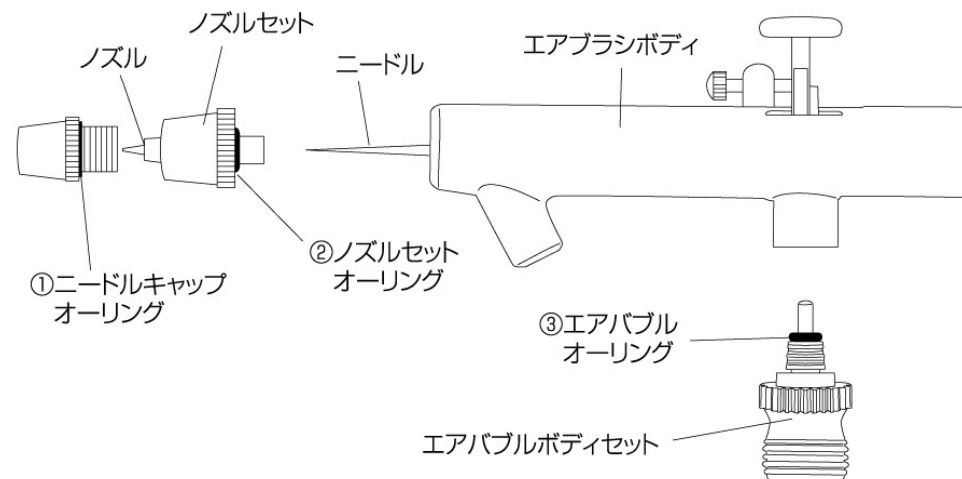
ノズル・ニードル・オーリングなどは消耗品です。
消耗品のお問い合わせは、お買い上げの販売店にてご注文をお願いします。

●ノズル

ノズルを交換する場合は、付属のレンチでノズルセットを交換してください。

●オーリング

お客様ご自身で交換できるオーリングは右図①～③のみです。それ以外の所で不具合が生じた場合は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。修理可能な場合は、お客様のご希望により有料で修理させていただきます。



技術的・専門的情報の
お問い合わせは…

お客様
相談窓口

TEL 0258-66-1233

受付時間 AM9:00～PM5:00(土日祭日および弊社の休日を除く)